

2015年9月15日発行

きらきら仲間のみなさまへ

こんにちは、
お元気ですか。^^;
今年もよろしくお願ひいたします。
桑名員弁の、身近な市民活動を応援する、きらきら基金です。^^;
今期は二回、助成事業を計画しています。
ぜひ、みなさんと、にぎやかしてくださいね。＼(^o^)/

■ 2015年12月13日(日)

午前 寺町通り商店街 「サンタの行進」(サンタさんの格好で、きらきらのアピール)
午後 桑名市総合福祉会館 「団体助成」「地域円卓会議-企業の社会貢献活動」

■ 2016年02月20日(土)

午後 桑名市多度公民館 「パートナー事業助成」「企業の社会貢献活動アピール」

♡♡♡団体助成先を募集します。(きらきら基金 団体助成 助成日 12/13)
募集期間 2015年09月15日~10月15日

♡♡♡いっしょに、サンタの行進をしてもらえませんか
12/13 寺町通り商店街を、サンタさんの格好で歩きます。^^;

♡♡♡カエル・こぶた & 小熊の募金箱でのご協力を、お願ひします。m(__)m
お手元に、募金箱はありますか? もし、なければ…

♡♡♡企業の社会貢献活動や、企業の市民活動応援活動などを、教えてください。
企業といっしょに、社会貢献活動をやってみたいという団体はみえますか?

♡♡♡「2016年春まちのかわらばん特大号」発行の準備を進めています。
市民活動団体と、企業の社会貢献活動の紹介を企画しています。

お問い合わせ・ご連絡は、
お近くの「きらきら基金運営委員」まで、
ぜひぜひ、どうかよろしく、お願ひします。＼(^o^)/



◆◆団体助成先を募集します。(きらきら基金 団体助成 助成日 12/13)

募集期間 2015年09月15日～10月15日

対象は、きらきら基金の団体取材を受けていただいたところで、これまでに団体助成を受けていない団体が対象です。

12月13日(日) 桑名市総合福祉会館にて、3分程度の団体アピールをしていただきます。
来場者がそれを見て、100円単位で寄附投票します。また、事前のご寄附を按分します。
だいたい、1万円から2万円の範囲の助成額になります。使い途は自由です。
後日、助成事業の中で、みなさんに向かって「助成の成果」を報告ください。



◆◆いっしょに、サンタの行進をしてみませんか

12/13 寺町通り商店街を、サンタさんの格好で歩きます。^^;
午前10時に、桑名市総合福祉会館に集合、受付して変身です。
午前11時、寺町どおり商店街南口に集まり、
桑名市長といっしょに、寺町通り商店街を、みんなで行進したいと思います。
のぼり旗も持って、きらきら基金をアピールします。

参加費は1000円。その内、100円均一の紙のサンタさんの衣装と運営費が500円
均分の500円は、市民活動を応援する資金への寄附金です。
自分で、サンタさんの衣装を用意できる方は、参加費は寄附分の500円ですみます。
変わりサンタさん、OKです。^^;

午後からの助成事業に参加いただける方には、会場でおにぎりや豚汁を用意しますね。
あと、みなさんに、簡単なクリスマスプレゼントを用意したいと思っています。^^;

◆◆カエル・こぶた & 小熊の募金箱でのご協力を、お願いします。m(__)m

募金箱はありますか？ もし、なければ…

きらきら基金は、例によってお金がありません。^^;
団体に10件、パートナー事業に10件の助成をするのに、事前に50万円ほど必要ですが、
すいません、これまでに10万円しか集まっています。

みなさま、お手元に、募金箱はありますか？
もし、募金を集めてあげようと思っていて、持っていなかったら、
ぜひぜひ、きらきら基金の運営委員に声をかけてくださいね。^^;

12/13の団体助成の日が近づきましたら、募金やご寄附をいただきにまいりたく、
かってを言ってすいません、ぜひ、ご協力を、よろしく願いいたします。<m(__)m>

◆◆◆企業の社会貢献活動や、企業の市民活動応援活動などを、教えてください。

企業といっしょに、社会貢献活動をやってみたいという団体はみえますか？
市民の社会貢献活動と、企業の社会貢献活動の両方がある、
よりくらしやすい地域・まちになっていると思っています。

今回は、企業の社会貢献活動や、市民活動への応援活動も、
まちのかわらばん特大号にのせて、紹介したいと思っています。(30社ぐらい)

特別にわざわざというほどでなくても、ちょっとしたこと、
たとえば、
地域のイベントのポスターを貼ってくれる駅とか、
市民活動の舞台を提供してくれるショッピングセンター、
地域の清掃活動、まちかど博物館への参加、
桑名の千羽鶴の折り紙の提供などなど。

こんなところを、ひとつひとつ訪ねて取材し、紹介していきます。
こんなことをやっているところがあるよという企業などをご存知であれば、
まわりのきらきら基金運営委員に紹介してくださいね。

♥♥♥「2016年春まちのかわらばん特大号」発行の準備を進めています。

市民活動団体と、企業の社会貢献活動の紹介を企画しています。

企業の社会貢献活動の紹介の他、
いつもの市民活動団体の紹介も、もちろん掲載していきます。

代表や事務所・連絡先の交代、事業内容の更新、活動延期など、
のせてある内容を変更されたときは、どうぞご連絡くださいね。
ホームページも含め、随時、行進していきます。

◆◆◆きらきら☆らじお、かわらばん、きらきら基金のうごきはこちらから ◆◆◆

★きらきら☆らじお

次回は、10月06日(火)午前11時よりサンシティから放送します。
これまでの放送はこちらからお聞きいただけます。

<http://blog.canpan.info/miekita/archive/293>

Ustreamのライブ放送はこちらからどうぞ

[Http://bit.ly/tKvSNI](http://bit.ly/tKvSNI)

★かわらばん、きらきら基金のうごきはこちらからどうぞ

<http://blog.canpan.info/miekita/>

★市民活動団体紹介はこちらどうぞ
<http://blog.canpan.info/kirakiraboshi/>



郷土史家 西羽晃氏の歴史寄稿

幕末・維新の桑名藩シリーズ 46

遠藤利貞(えんどう としただ)について

遠藤利貞は天保 14(1843)年、桑名藩土堀尾利見(としあり)の三男として、江戸の桑名藩屋敷で生まれました。幼い時に桑名藩土堀遠藤家の養子になりました。9歳のころ父から算術を学び、さらに江戸京橋の細井若狭のもとで算術の勉強に励みました。武士は行政マンですから、武術だけでなく、算術も必要だったので、

26歳の時に戊辰戦争が始まり、彼は旧幕府軍の彰義隊とともに、上野での戦いに参加し、新政府軍と戦いました。しかし敗北したので、偽名を名乗って江戸で半年ほど隠れたのち、桑名に来ました。

桑名では藩校の立教館で彼は算術の先生となりました。明治政府では従来からの算術(和算)を廃して、外国からの洋算を取り入れるようになりました。そのため彼は洋算を学ぶべく明治5(1872)年に東京へ出て、洋算を学びました。翌年には伊勢山田の度会県学校の教員となりました。

明治8年には官立東京師範学校(現在の筑波大学)の教員となりました。その後も各地の学校の教員となり、一生のうち、私立学校 17校、官公立学校7校で勤務しています。もっとも正規の教員でなく、非常勤講師だったようです。

政府が洋算を進めましたので、従来からの和算が廃れてきました。遠藤は元々和算を学んでいたもので、和算の歴史が消え去ることを惜しみ、勤務の傍ら独力で和算の歴史を研究しました。消えゆく資料を求めて苦労し、こつこつと原稿を書き、明治 26年5月に原稿は完成しました。しかし先に述べたように非常勤講師で収入も安定せず、彼は生活費にも事欠く有様で、とても出版する費用もなかったのです。

彼は最初の妻とは死別し、明治 27年に2人目の妻と結婚したのですが、経済的にあまりにも苦しいので、2人目の妻は3か月で別れてしまいました。3人目の妻も1年半ほどで死別し、その後に4人目の妻と結婚するなど、家庭的にも恵まれませんでした。

明治 29年に三井財閥の三井八郎右衛門の援助を得て『大日本数学史』を出版することが出来ました。28年に東京帝国大学理科大学(現在の東京大学理学部)助手となり、39年から帝国学士院で和算書の収集に努めました。さらに研究に励み、『大日本数学史』の改定原稿を書きました。しかし原稿が完成する前に病気となりました。

大正4(1915)年4月 17日に文部大臣から叙勲の申請が出されました。しかし同月 20日に彼は亡くなりました。そのため同日付けで「勲六等旭日章」を授与されています。遺骨は東京・染井墓地に葬られました。改定原稿は『増修日本数学史』として、彼の没後に仲間たちによって出版されました。

桑名藩は戊辰戦争で新政府軍に敗けましたが、桑名藩士である遠藤にとっては新政府の施策になじめず、新政府が切り捨てた和算を後世に残すべく、清貧に甘んじながらも努力したのです。桑名藩士としての意地、反骨精神を持っていたと私は思います。

参考文献

「叙勲裁可書」(国立公文書館 アジア歴史資料センター所蔵)

『増修日本数学史』(遠藤利貞遺著・三上義夫編 恒星社厚生閣 1981年)